

Market Report

2024年2月号



インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

1. 実績

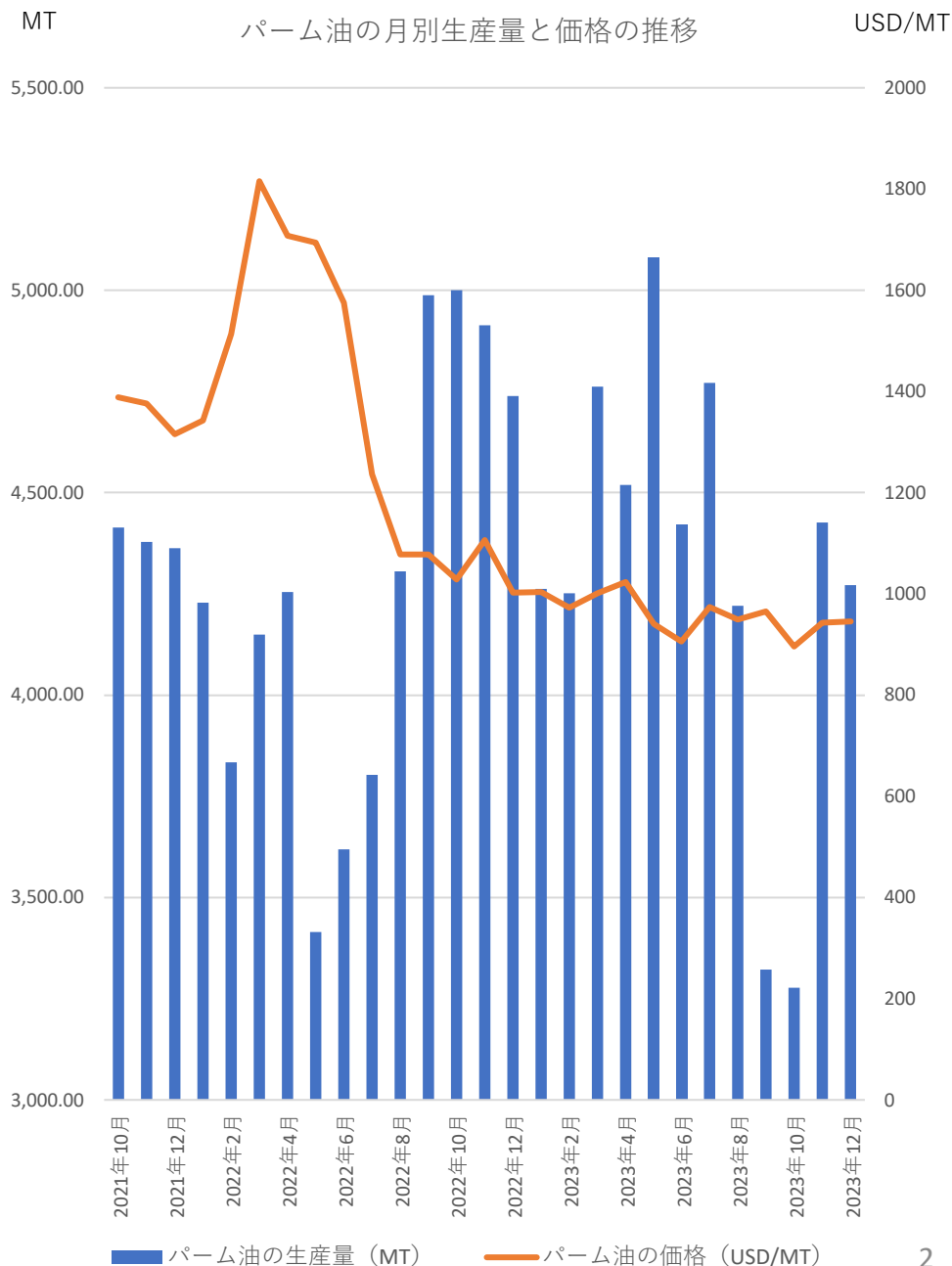
2024年1月のFFB価格は、2023年12月のFFB価格に比べて様々な州で価格変動があった。FFBの最高価格は2,444.29Rp/kgのリアウ州で、最低価格は1,611.04Rp/kgの西パプア州であった。

CPOの平均価格は2023年12月の11,148.09 Rp/kgと比較して2024年1月は11,790.44 Rp/kgと642.35 Rp/kg上昇した。一方2023年1月のCPO平均価格11,548.22 Rp/kgと比較すると242.22 Rp/kg上昇した。

2. 見通し

インドネシアの雨季がピークを迎える2月は、FFBとCPOの生産量の増加が予想される。

最近のCPO価格高騰は、CPO輸出政策として設定されたDMO規制が思うように実施されていないことが原因である。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2023年12月のインドネシアのPKS輸出量は463,605.032トンで、394,274.672トンと記録された11月の輸出量と比較すると69,330.360トン、約17.58%増加した。また、2023年12月のPKS輸出額はUSD 54,329,484を記録した。2023年1月から12月までの合計輸出量は5,173,380.586トン、輸出額はUSD 609,136,359と記録された。2022年の合計輸出量4,618,209.964トンと比較すると555,170.621トンの増加となった。

2023年12月最大の輸出先は日本であり、輸出量は447,906.634トン、外貨換算額は52,744,006 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約97%を占める）

2. 見通し

2024年2月はFFBとCPOの生産量の増加に伴いPKSの価格は落ち着くと考えられる。

